

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2021年11月次 月次概況(速報)のお知らせ

2021年11月次の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位:口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人(BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位:口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429				
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217				
外国為替取引口座数 (単位:口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482				
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426				
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988				
金融法人(BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438				
マネパカード口座数 (単位:口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引(CFD)の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高(原取引単位を米ドルに換算)及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインエージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。

<11月次の概況>

11月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=114円台前半で取引が始まり、4日のイングランド銀行による市場予想に反した政策金利据え置きを発表によって引き起こされた欧州各国の金利低下が米金利にも波及したことに加え、週末のポジション調整に押されたことから翌週9日には112円台後半まで下落しました。10日に発表された米10月消費者物価指数は予想を上回る結果となり114円台を回復、17日は115円手前まで上昇しましたが、心理的節目を前に上値が重くなり、米金利低下や原油価格の下落も相俟って、19日には欧州のロックダウンに関するヘッドライン等により一時113円台半ばまで下落しました。22日にFRBのパウエル議長の再任決定やFOMC議事要旨のタカ派な内容を背景にドル買いとなり、24日には2017年3月以来(約4年8カ月ぶり)となる115円台半ばの月中高値を付けました。しかし、26日に南アフリカで新たなコロナウイルス変異株(オミクロン株)が発見されたことによりリスクオフ寄りの動きが加速し113円台前半まで下落しました。その後はオミクロン株に関する様々な情報が交差する中、月末に一時112円台半の月中安値を付けた後、113円台前半で月末を迎えました。

一方、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ね円高傾向での推移の中、米ドル/円同様に値動きの大きい展開となりました。新興国通貨においては、トルコ中央銀行のインフレ下での利下げという異例の決定を受けトルコリラが急落し、また、オミクロン株の発見により南アフリカランドが急落しました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円の1日の平均値幅が0.798円(前月は0.654円)となるなど、全体として比較的高い水準であった前月から上昇しました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは1回当りの取引数量5万通貨までスプレッドを原則24時間「米ドル/円0.0銭(売買同値)」としたほか、「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」、「トルコリラ/円」のスプレッドを原則24時間最狭水準とするキャンペーンを行っており、また、「約定力100%」のパートナーズFXでも18時00分~24時00分の時間帯に限りスプレッドを「米ドル/円0.2銭」、「豪ドル/円0.3銭」、これに加え「ユーロ/円0.3銭」、「ポンド/円0.5銭」に縮小するキャンペーンを続行しております。外国為替取引高は、日米でそれぞれ2日、合計4日の祝祭日があり実質取引日数が少ない中、トルコリラをはじめ新興国通貨が増加し前月比5%増加の952億通貨単位となりました。営業収益は、取引高が増加したものの、ポジションのロールオーバー時における受渡日の繰延べ日数の関係もあり、前月比横這いの429百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が減少、金融法人分が増加となり、全体では前月比1,077百万円減少の54,426百万円となりました。

なお、2021年12月6日より当社の連結子会社である株式会社マネーパートナーズにおいて、「暗号資産関連店頭デリバティブ取引」(暗号資産CFD)のサービスを開始しております。

以上